

紀伊山地の霊場と参詣道

世界遺産登録20周年記念シンポジウム

入場無料

200名

(事前申込制)
先着順、定員に達し次第
終了します

日時 令和6年 **10月30日(水)** 午後1時30分～午後4時
(開場/午後1時)

場所 **京都市国際交流会館** (京都市左京区粟田口烏居町2番地の1)

アクセス▶京都市営烏丸線烏丸御池駅乗り換え
京都市営東西線蹴上駅徒歩6分

基調講演

平安時代の吉野・熊野・高野詣

国際日本文化研究センター名誉教授/総合研究大学院大学名誉教授 倉本 一宏氏

「紀伊山地の霊場と参詣道」の文化的価値について

國學院大學観光まちづくり学部 学部長 西村 幸夫氏

パネルディスカッション

「紀伊山地の霊場と参詣道」のこれまでとこれから

コーディネーター



國學院大學観光まちづくり学部 学部長
西村 幸夫氏

パネリスト



国際日本文化研究センター名誉教授/
総合研究大学院大学名誉教授
倉本 一宏氏

パネリスト



皇學館大学名誉教授
櫻井 治男氏

パネリスト



歌手
相川 七瀬氏

【申込先】株式会社和歌山放送「世界遺産シンポジウム」事務局

住所・氏名・電話番号・メールアドレスを記載の上、申込フォームまたは電子メール、FAXでお申し込み下さい。

【メール】sekaiisan@wbs.co.jp 【FAX】073-428-0960

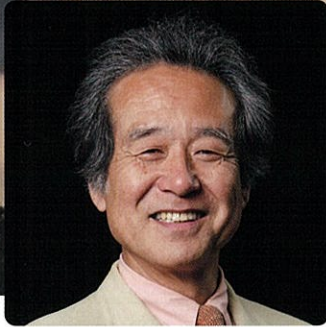
お問い合わせ▶和歌山放送 TEL.073-428-1431 ※午前9時30分～午後5時(土・日・祝日を除く)



↑申込みはこちら

主催/世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会(和歌山県・三重県・奈良県)

「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産登録され、
令和6年7月に20周年を迎えました。
本シンポジウムでは、これまでの歴史を振り返り、
未来へ繋いでいくための保全や活用について議論を深めます。



西村 幸夫 (にしむら ゆきお)
●国学院大学観光まちづくり学部 学部長
福岡県福岡市生まれ。東京大学工学部都市工学科卒、同大学院修了。明治大学助手、東京大学助教授を経て、1996年より2018年まで、東京大学教授。2018年より、東京大学名誉教授。2022年より国学院大学観光まちづくり学部学部長・教授。専門は都市計画、都市保全計画、都市景観計画など。



倉本 一宏 (くらもと かずひろ)
●国際日本文化研究センター名誉教授/
総合研究大学院大学名誉教授
三重県津市生まれ。東京大学文学部国史学専修課程卒業。東京大学大学院人文科学研究科国史学専門課程修了。御堂関白記「世界の記憶」推薦委員。現在放送中のNHK大河ドラマ「光る君へ」の時代考証を担当。専門は日本古代政治史、古記録学。



櫻井 治男 (さくらい はるお)
●皇學館大学名誉教授
京都府宇治市生まれ。皇學館大学文学部卒、同大学院修了。皇學館大学助手、助教授を経て、教授、社会福祉学部学部長を歴任。日本宗教学会評議員、NPO法人社業学会理事長を務める。2018年、第28回南方熊楠賞(人文の部)を受賞。専門は宗教学、地域の祭りや神社祭祀、伊勢神宮研究など。



相川 七瀬 (あいかわ ななせ)
●歌手
大阪府大阪市生まれ。1995年11月「夢見る少女じゃいられない」で歌手デビュー。今年度デビュー30周年を迎える。歌手活動以外にも、絵本の出版や小説、日本の旅エッセイなどを執筆。2020年より国学院大学神道文学部に在籍、2024年に卒業後、同年国学院大学大学院に進学、民俗学専攻。



アクセス
京都駅より
京都市営烏丸線
『烏丸御池駅』乗り換え
京都市営東西線
『蹴上駅』徒歩6分

『シンポジウム』申込フォーム・メールおよびFAX申込書

※記載いただいた情報は、「世界遺産登録20周年記念シンポジウム」以外の目的には使用しません。
※定員に達し次第終了します。



■参加申込フォーム▶ こちらの二次元コードをスキャンしてください▶▶▶

■メール▶ sekaiisan@wbs.co.jp

■FAX申込ダイヤル▶ 073-428-0960

【申込期限】
10月18日(金)まで

氏名	住所	電話番号
1 メール▶		
2 メール▶		
3 メール▶		